

事務事業評価シート 平成 30 年度事後評価・決算

令和 2 年 2 月 21 日時点

事務事業名		15300	延長保育事業ほか2事業	予算科目	会計	款	項	目	事業種別
基本施策		7	子育て支援の充実	根拠法令	一般	3	3	1	事業種別
施策の展開		15	結婚・子育て環境の整備	戦略事業	73	時間外(延長)保育事業			事業種別
施策の展開				戦略事業					事業種別

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない	③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 18 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	保護者の就労形態の多様化に伴い、児童の保育時間を延長することで、安心して子育てができる環境を整備し、児童の福祉の向上を図る。 【保育標準時間認定の場合】 ・公立保育所(中央第一保育所)、公設民営(干潟保育所)は、午後6時15分から午後7時15分までの時間で保育を実施。 【保育短時間認定の場合】 ・公立保育所(その他)は、短時間保育利用の方が8時間を超えて保育を希望する場合に午後4時00分から午後6時15分までの時間で保育を実施。 私立保育園等については、延長保育の実施に対し補助金の交付を行う。	就労形態が多様化し、通常時間外の保育の需要が増えてきたため。	就労形態の多様化、核家族化により、延長保育の利用は、公立保育所では微増している。私立保育園は平成21年度が11,906人であり、年度により増減がある。 平成27年度から子ども子育て新法により短時間利用の方に対する時間外保育も実施することとなった。	平成23年に市内全保育所で実施したアンケートによると、午後7時までの延長保育を適当と思う方が 84.3%、午後7時を超えての延長保育を適当と思う方が 12.1%であった。

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(30年度の決算)		単位:千円
1. 共済費	280	臨時職員社会保険料
2. 賞金・報償金	1,616	臨時職員賞金
3. 負担金及び交付金	6,160	旭市地域子ども・子育て支援事業費補助金
4. 委託料	500	指定管理料(干潟保育所)
② 特定財源の内訳(30年度の決算)		単位:千円
1. 国庫支出金	2,291	子ども・子育て支援交付金
2. 都道府県支出金	2,053	千葉県子ども・子育て支援補助金
3. 地方債	0	
4. その他	110	延長保育利用収入

事業費	単位	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(予算)
1. 共済費	千円	45	108	260	280	284
2. 賞金・報償金	千円	1,359	1,397	1,427	1,616	1,686
3. 負担金及び交付金	千円	5,219	5,460	6,120	6,160	6,800
4. 委託料	千円	500	500	500	500	500
事業費計 (A)	千円	7,123	7,465	8,307	8,556	9,270
1. 国庫支出金	千円	1,739	2,114	2,055	2,291	2,266
2. 都道府県支出金	千円	1,739	1,819	2,040	2,053	2,266
3. 地方債	千円					
4. その他	千円	168	130	150	110	115
5. 一般財源	千円	3,477	3,402	4,062	4,101	4,622

前年度増減理由	臨時職員賞金が増となったため
---------	----------------

従事職員数 常時 19 人 最大 人 × 日 = 延べ 0 人

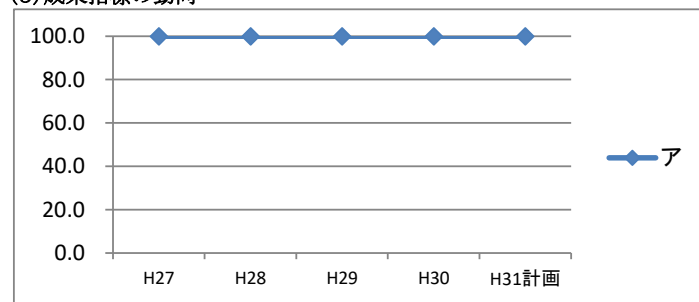
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
手段	30年度実績(30年度に行った主な活動)	ア 公立保育所の延長保育の延べ利用児童数	人	2,196	1,910	2,183	1,738	1,653
	公立保育所…利用申請受付、児童保育、料金徴収 公設民営保育所…指定管理料支払 私立教育・保育施設…補助金交付	イ 私立教育・保育施設の延長保育の延べ利用児童数	人	10,532	8,216	8,812	8,786	7,726
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標名	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
目的	対象 延長保育を実施している公立保育所及び私立保育園の児童の保護者	ア 希望者が必要な時に延長保育を利用できた割合	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	意図 安心して働くことができる。	イ						
目的	対象 児童							
	意図 保護者による保育ができない時に保育を受けることができる。							

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		成果向上余地		
施策貢献度	大きい	かなりある	ある程度ある	ほとんどない
	普通			
	小さい			
② コスト削減優先度評価結果		コスト比率		
評価結果	①	下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
	②			
	③	(2)		
	④⑤			
	⑥			
	⑦⑧			
	⑨			

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	② 成果の状況	③ 今年度取組事項	④ 今後の方向性
評価内容	完了 ☒ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難 ☐	成果指標ア 成果指標イ	時期 内容	拡大 ☐ 縮小 ☐ 現状維持 ☒ 廃止・休止 ☐ 見直し ☐ その他 ()
	【コメント】(停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)	【コメント】(低下の場合、その理由)	引き続き、事業を実施していく。	引き続き、事業を実施していく。